

## 第二級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間  
無線工学 12問

法 規

〔1〕 無線局の免許状に記載される事項はどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線設備の設置場所
- 2 無線従事者の氏名
- 3 免許人の国籍
- 4 工事落成の期限

〔4〕 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者の無線設備の操作の対象となる「陸上の無線局」に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 固定局
- 2 海岸局
- 3 航空局
- 4 基幹放送局

〔2〕 無線局の免許人は、電波の型式及び周波数の指定の変更を受けようとするときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 総務大臣に電波の型式及び周波数の指定の変更を届け出る。
- 2 総務大臣に電波の型式及び周波数の指定の変更を申請する。
- 3 あらかじめ総務大臣の指示を受ける。
- 4 免許状を総務大臣に提出し、訂正を受ける。

〔5〕 無線局（総務省令で定めるものを除く。）の免許人は、主任無線従事者を選任したときは、当該主任無線従事者に選任の日からどれほどの期間内に無線設備の操作の監督に関し総務大臣の行う講習を受けさせなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 6箇月
- 2 3箇月
- 3 5年
- 4 1年

〔3〕 次の記述は、電波の質について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

送信設備に使用する電波の  、高調波の強度等電波の質は、総務省令で定めるところに適合するものでなければならない。

- 1 周波数の安定度
- 2 変調度
- 3 空中線電力の偏差
- 4 周波数の偏差及び幅

〔6〕 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、陸上の無線局の25,010kHzから960MHzまでの周波数の電波を使用する無線設備（レーダーを除く。）の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

- 1 20ワット
- 2 10ワット
- 3 50ワット
- 4 30ワット

## 第二級陸上特殊無線技士試験問題

### 法 規

〔7〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
- 2 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
- 3 無線通信を行う場合においては、暗語を使用してはならない。
- 4 無線通信は、試験電波を発射した後でなければ行ってはならない。

〔8〕 総務大臣は、無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるときは、その無線局に対してどのような処分を行うことができるか。次のうちから選べ。

- 1 周波数の指定を変更する。
- 2 空中線電力の指定を変更する。
- 3 無線局の免許を取り消す。
- 4 臨時に電波の発射の停止を命ずる。

〔9〕 無線従事者が総務大臣から3箇月以内の期間を定めてその業務に従事することを停止されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 免許証を失ったとき。
- 2 電波法又は電波法に基づく命令に違反したとき。
- 3 その業務に従事する無線局の運用を1年間休止したとき。
- 4 その業務に従事することがなくなったとき。

〔10〕 無線局の臨時検査（電波法第73条第5項の検査）において検査されることがあるものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線従事者の知識及び技能
- 2 無線従事者の勤務状況
- 3 無線従事者の業務経歴
- 4 無線従事者の資格及び員数

〔11〕 無線局の免許人は、無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内にその旨を総務大臣に報告する。
- 2 速やかに総務大臣の承認を受ける。
- 3 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
- 4 2週間以内にその旨を総務大臣に届け出る。

〔12〕 無線局の免許がその効力を失ったときは、免許人であった者は、その免許状をどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内に総務大臣に返納する。
- 2 直ちに廃棄する。
- 3 3箇月以内に総務大臣に返納する。
- 4 2年間保管する。